

研究キーワード

環境NGO、公害被害者救済、市民活動、中国の環境問題、東アジアの国際協力

相川 泰

AIKAWA, Yasushi

教授

所属…経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

■主な担当科目 アジア環境論、アジア社会論、国際関係入門

研究者略歴

2004（平成16）年 4月	鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科専任講師
2006（平成18）年 4月	鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科助教授
2007（平成19）年 4月	鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科・大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授
2012（平成24）年 4月	鳥取環境大学経営学部経営学科准教授
2015（平成27）年 4月	公立鳥取環境大学経営学部経営学科准教授・大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授
2016（平成28）年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻准教授
2022（令和 4）年 4月	公立鳥取環境大学経営学部経営学科・大学院環境経営研究科経営学専攻教授

Research

■取得学位 修士（学術）（東京大学）

■専門分野 中国環境研究、東アジア国際関係、民間非営利部門論

■現在の研究テーマ
・中国における環境問題と政策、特に環境汚染の実態および被害者救済
・日本・中国・韓国の環境NGO・市民活動、それらの国際展開、相互交流・協力
・上記を中心とする国際関係の同時代史

■所属学会 環境経済・政策学会、アジア政経学会、環境社会学会、日本環境会議、日本現代中国学会

Data

研究等活動

【著書】

- ・『Environmental Policy and Governance in China』（共著）、2017年、Springer
- ・『中国の環境法政策とガバナンス』（共著）、2012年1月、晃洋書房
- ・『中国汚染——「公害大陸」の環境報告』（2008年3月、ソフトバンククリエイティブ
- ・『中国の環境問題と法・政策』（共著）、2008年3月、法律文化社
- ・『中国環境ハンドブック』（共編著）、2004年、2007年、2009年、2011年、蒼蒼社
- ・『地域と環境政策』（共著）、2006年11月、勁草書房
- ・『アジア環境白書』（共著）、1997年、2000年、2003年、2006年、2010年、東洋経済新報社
- ・『環境共同体としての日中韓』（共編著）、2006年1月、集英社
- ・『重大化する中国環境問題』（編著）、『中国年鑑2004』（共編著）特集、2004年8月、創土社
- ※『中国年鑑』環境問題（動向、要覧）欄は1995年から2008年までと2018年から執筆担当

【論文】

- ・「環境分野からみる中国の民間——NGOを中心に」、2020年9月、『現代中国』94
- ・「SDGsの来た道」、2020年3月、高井・甲田編『SDGsを考える』ナカニシヤ出版、第2章
- ・「中国におけるプラスチックごみ問題」、2019年9月、『環境経済・政策研究』12-2
- ・「環境問題における日中間協力の現状と課題」、2014年10月、『市政研究』185
- ・「転換期にある東アジア地域の民間非営利環境協力」、2014年4月、『鳥取環境大学紀要』12
- ・「日中民間非営利交流・協力の現状と将来像」、2013年1月、『日中環境産業』49-1
- ・「中国の人々の環境意識はどのように高まったか」、2012年10月、『世界』（岩波書店）835
- ・「中国環境NGOの今」「環境NPOの今ー日本と中国のNPO交流の現場からー」、2012年5月～2013年7月、『資源環境対策』『日中環境産業』『環境パートナーズ』48-5～49-8
- ・「中国の環境NGOによるグリーン・サプライチェーン運動」、2012年4月、『環境と公害』41-4
- ・「ユーラシア北東岸水域の環境汚染問題——松花江の汚染と対策を中心に」、2012年3月、『SEEDer』6

社会貢献活動

- ・日中韓環境情報共有・交流事業運営委員
- ・中国環境問題研究会 共同代表
- ・島根大学・寧夏大学国際共同研究所客員研究員
- ・中国の環境汚染被害発生地において、日本の水俣病の経験と教訓について中国語で講演（日本政府による草の根無償資金援助事業の一環）、2017年11月